



BRIDGEの取組が、時事通信社「教育奨励賞」推薦校の実践として、『内外教育』（第7213号）に掲載されました。

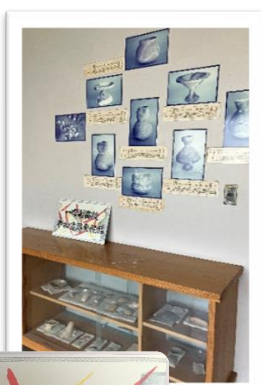
南高SDG s 総選挙（1年生探究発表会）にむけて

1年生は、最終発表会に向けて各班が準備を進めました。最終発表会では、まず各クラスで発表を行い、その中からクラスの代表班が選出されます。その代表班が体育館にて全体発表を行います。その際に用いるスライドの作成を進めているところです。11月の企業訪問を踏まえて、各班が設定した課題を見直し、それぞれの解決策を模索しています。解決策を考える上で大切なポイントは、「具体性」と「実現可能性」です。「誰のために」「どんな形で」といった視点で具体的かつ実現可能性のある解決策を考えようと取り組んでいます。生徒一人ひとりが主体性と協働性をもち、高校生ならではの柔軟で新鮮な感性が発揮されることを期待しています。

1年生の探究（BRIDGE）もいよいよ残りわずかとなりました。最終発表会が1年間の総まとめとしてよりよいものとなるよう、学年団も一致団結して取り組んでいきたいと思います。



『校章のラグ』・平松遺跡の“見出しプレート”を寄贈していただきました。』



インタビュープログラムで、生徒が訪問した時、タフティングで校章のラグを作成させていただきました。

tufting_studio so_koの宮本様から寄贈いただきました。生徒たちは、「タフティングの認知度をたかめる」というテーマで「南高祭でタフティングを企画するには」とい課題にむけて取り組んでおります。

また、本校敷地内の平松遺跡で調査発掘された縄文土器に興味を持った、BRIDGEの活動でお世話になっている（株）ノダキの野田典嗣様から、見出しプレートの寄贈もしていただきました。ありがとうございました。

